

## <概要>

昭和63年度に発生した放射性同位元素等取扱事業所に係る事故は、紛失2件であった。なお、いずれの事故についても周辺公衆への影響はなかった。

## <更新年月>

1998年05月（本データは原則として更新対象外とします。）

## <本文>

昭和63年度に発生した放射性同位元素等取扱事業所に係る事故（放射線障害防止法令に基づき科学技術庁（現文部科学省）に報告のあったもの）は紛失2件であった。また、周辺公衆への影響はなかった。

（1）昭和63年12月8日、飯塚産婦人科病院に対する科学技術庁（現文部科学省）の立入検査の結果、所持しているはずの**ラジウム226**密封小線源〔1ミリキュリー（37MBq）×5本〕が所在不明であることが判明。当該線源については、購入当初（昭和56年12月）から使用した旨の記録はなく、購入後早い時期から所在不明であったと推定される。

（2）平成元年2月17日、福岡赤十字病院で所持していたコバルト60密封小線源の使用を廃止し、（社）日本アイソトープ協会に引き渡そうとしたところ、コバルト60〔2ミリキュリー（74MBq）〕の針13本のうち4本が紛失していることが判明した。なお、当該線源は昭和33年1月から昭和39年7月までの間、**放射線治療**に使用されていたもの。

## <関連タイトル>

[放射性同位元素等取扱事業所における事故等の年度推移（1998年度まで）（03-05-04-01）](#)

[放射性同位元素（08-01-03-03）](#)

[放射性同位元素等取扱施設からの放射線（能）（09-01-02-07）](#)

## <参考文献>

（1）原子力安全委員会（編）：「昭和63年度の放射性同位元素取扱施設の事故・故障（放射線障害防止法に基づき報告があったもの）」、平成元年度版 原子力安全白書、155、383、（1989）